



中 田 小

【学校教育目標】

さわやか笑顔 中田っ子
～思い合い ひびきあい 共に生きる力を育てます～

令和5年4月28日

【中田小ホームページ】

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakada/>

「したい」気持ちを育てる

校長 中村 真弓

緑が目にあふましい季節となり、中田小でも鳥のさえずりが聞こえてきます。地域の皆様やPTA保健委員さん、児童の環境栽培委員会の活動のおかげで、花いっぱいの中田小学校です。

先日、入学したばかりの1年生が「電車の鍵はどこにありますか？」と私のところに尋ねてきました。頬を紅潮させて一生懸命話す姿に、「ああ、学校探検をして市電を見つけたのだな。それは中に入ってみたくなるだろう。」と思い、「先生たちがお仕事をする職員室にありますよ。先生と一緒に借りに来てください。」と伝えました。数日後にクラスのみんなで鍵を借りに来て、「1年〇組です。電車の鍵を貸してください。」と上手に言うことができました。自分たちの切実な思いが伝わって、鍵を貸してもらえたことに喜んでいる子どもたちでした。小さいステップですが、自分たちでできたという達成感であふれていました。

入学したばかりの1年生も、「なぜだろう?」「どうしたらいいだろう?」という自然な疑問を丁寧に引き出し、思いや考えを自分の言葉で伝えることで解決していく、思いをかなえていくという経験を積み重ねています。今はまだ主に生活の中での疑問や思いですが、これが学習へとつながっていくのだと思います。

4月号には、「あいさつ」と「ありがとう」が自然に言える子どもたちに、と書きました。それ以外にも、あとふたつ教育活動で大切に考えていることがあります。そのうちのひとつを子どもの言葉に置き換えて、『しっかり考え自分から取り組もう・「～したい」を見つけよう』とし、子どもたちにも話しています。これは、主体的に取り組む態度を積極的に育てようということです。学習のゴールのこうなりたいという姿やこういうことをしたいという思いを子ども自身もてるように、それに向かって自分で考えて取り組めるように支援していきます。先ほどの市電の鍵を借りに来た1年生の姿が、まさにこの第一歩だったのだと思います。

教職員一丸となり、子どもたちの「やりたい」や「できた」、「やってよかった」という気持ちを大切に育ててまいります。ご協力いただければ幸いです。



ほたるの里のツツジ